

大阪新屋締巻

第六号

真信堂

本居宣長

下谷仲御徒町甲目
住料理人六兵衛子供

三人の親子とて睦々暮して居ると
近頃ハ千ト献立の間違てさうみ悪く飯汁

病気の床の着病を喰入り深切な世話のうひさへ
あつたそ又母が病つた二津五米の難しうを

ドウ精進の種もあつた縁を身お
引受函者よ葉と幸

さ目ハヤもつとめ
孝行娘と東校御雇

外国人がふいと見をめて辛おせんを月お
三内ツ身の代を遣ると又中々お不とをくを

美知ていふお要落たれとと外国人を見おとと断りませ

心の潔白彼がふ心け有る物と讀賣百十号を見て賞え

西

